

三保漂着クラゲノミ亜目

ノコバウミノミ

横山謙二

2025年3月20日の三保真崎海岸漂着物調査で採集したものの中に、1個体だけノコバウミノミ科ノコバウミノミ *Brachyscelus crusculum* Bate が含まれていました。ノコバウミノミ属は、Zeidler (1992) によると *B. globiceps*、*B. macrocephalus*、*B. crusculum*、*B. rapax*、*B. rapacoides* の5種に分類されています。

本採集個体については、Vinogradov et al. (1996) と Zeidler (1992) の記述をもとに、以下の特徴によりノコバウミノミ ♀ *Brachyscelus crusculum* に同定しました。

1. 第1胸肢腕節の前遠位角に、丸みを帯びた小さな冠状突起があること
2. 第1胸肢腕節の後遠位角に、明瞭な鋭角の葉状突起があること
3. 第6胸肢基節（第2節）の遠位端は直線状で、座節をわずかに超えること

4. 第7胸肢の座節から指節までの長さは基節の長さより短い
他に頭部の大きさ、第3尾肢の分岐など

本種の頭部はメスは丸く、オスは先が細くなります。採集はしていませんが記録写真を確認すると、本種のオスらしいものがありました（第5図：未採集）。

本種の最大体長はメス21mm、オス17mmで、大西洋（北緯51度から南緯32度）、インド洋、太平洋（北緯40度以南、黒潮、ハワイ諸島、ナスカ海嶺、ニュージーランド）、地中海の表層から水深300-400mに生息しています。

本種の駿河湾での記録は調べたかぎりありませんが、同属の *B. globiceps* と *B. rapacoides* の2種の記録はあります。今後、この2種も三保真崎海岸で採集できるかもしれません。



第1図 ノコバウミノミ ♀



第2図 第5～7胸肢



第3図 第1胸肢腕節



第4図 第6胸肢



第5図 オスと思われる個体